

2024（令和7）年度 第11回

2/8(土) 13:30～

ぱれっとはだの

のぞみ会定例会

新年会参加、ありがとうございました。芸達者な会員のパフォーマンスで楽しく過ごせました。来年度以降の活動についてのアンケートを配布します。意見を参考にして、持続可能な家族会にしていきたいと思っております。ご協力をお願いします。

【活動報告】

- 1/11(土) 新年会・定例会 参加者 15名
- 1/15(水) 伝言ダイヤル体験 (7名参加)
- 1/23(木) 障害者支援懇話会地域共生部門会
- 1/24(金) 一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構 理事会
- 1/26(日) のぞみ会役員会
- 1/30(木) 社協団体部会
- 1/31(金) ほっぷすてっぷ会議
- 2/04(火) じんかれん研修会・理事会

【例会報告】

*アンケート実施…3月定例会で提出をお願いします。

*書籍を定例会時に貸し出します。

新しい本3冊、月刊みんなねっと、元気プラス。貸出ノートに記入してください。

*3月心理勉強会のテーマ

代理カウンセリングを受け、当事者と対話的対応をしたことにより、回復につながった事例紹介。

*来年度のぞみ会 役員（会則では毎年改選）…立候補大歓迎です。役員会 月1回（原則第4日曜日）興味のある方は保健福祉センター3階、団体事務室、2月23日（日）役員会13:30～に参加してください。

*のぞみ会定期総会 5月11日（日）13:20～

・講演会 14:20～16:00 「秦野市ピアサポーターに学ぼう」

内容（案）・家族・きょうだいとの関わり（同居か、別居かの場合に分けて）

- ・1人暮らしをどのようにしているか。福祉サービスの活用について。
- ・「親なき後」について。当事者として、どのような準備が出来るか。

*じんかれん

・のぞみ会会員は自動的にじんかれん加入となる。3月末に会員数を報告。

のぞみ会会費（3600円）の内、年間1,450円がじんかれんの活動資金になる。

・来年度総会 5月15日（木）13:00～ かながわ県民センター 304号室

*秦野市社会福祉協議会団体部会 1月30日(木)

- ・一日一福キャンペーン…延べ人数1990人、6712福(1/29時点)
- ・台風10号に伴う市社協災害ボランティアセンターを9/5~11/15開設した(局所災害・週末のみ活動)
- ・一円玉募金を能登の被災地に支援金として20万円送った。

*当事者連絡会 2月12日(水)

- ・防災について…自助・共助を中心に。
自助として平時に出来ること…避難場所の確認・備蓄品の準備・地域に繋がる・お薬手帳は必携等。
一番大切なことは、災害が起きるという意識を持つこと。
自立支援医療の薬局は2か所まで登録できる。遠方の薬局から近くの薬局に変更することも考える。
会員の安否確認…役員による伝言ダイヤル(繋がり易い)→LINE→メール→電話
- ・障害者総合支援法 医師意見書について

*はだの障害福祉推進プラン…パブリックコメント 2月16日まで

市役所HPで公開中、意見・提案を提出できる

*2月27日(木)10:00~12:00「にも包括」協議の場として 災害時の情報について・ワールドカフェ方式

保健福祉センター第4会議室 市役所防災課も参加。参加希望者は会長までお知らせください。

*3月1日(土)13:30~15:00 午後地域精神保健福祉会 ほっぷすてっぷ公開講座 鶴巻工芸2階

「成年後見人のお仕事」 講師 武田 孝氏

*3月3日(月)地域精神保健福祉連絡協議会 平塚保健福祉事務所秦野センター

- ・警察官通報に対する職員の臨場率、医療へつながる割合
 - ・アウトリーチ型支援、ACT(包括型地域生活支援プログラム)、家族支援
- 以上をのぞみ会から質問・意見として提出した。

*3月15日(土)13:30~ 育成会講演会(のぞみ会 共催) 保健福祉センター 多目的ホール
福岡寿氏(日本相談支援専門員協会顧問)「権利擁護と意思決定支援」
事前申込が無くても参加できます。

【じんかれん面接相談】電話予約 じんかれん TEL 045-821-8796(火、木10時~16時)

毎月第3火曜日13時、14時、15時。 2月18日(火) 3月18日(火)

【ばれっと・はだのピア相談会】毎月第2火曜日開催 2月18日(火)3月11日(火)

13:30~14:30 座談会(予約不要)

14:30~15:30 個別相談(要予約) TEL 0463-71-5701

【予定】

2/23(日)	役員会	福祉センター	13:30~
3/8(土)	定例会・心理勉強会	ばれっと	13:30~



はつがらす

初鴉 「生きるに遠慮がいるものか」 花田春兆 (1925~2017)

初鴉：元旦の季語 2025.01.08 朝日新聞 天声人語より。

作者は、重い身体障がいを持つ俳人。障がい者文化の研究者。

生きることに遠慮を強いられた体験を持つ人生だったのだろうか。

遠慮というのは、たいていある種の圧力のようなものによって「させられる」もの。

「遠慮圧力」を感じずに支援を求めることができる社会になればと思う。

